



担当者	部署	印

-5.3.20

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

福祉部

法人名

事業所名

銘苅合同会社

代表者

長堂 和男

小規模多機能

ホーム安岡

管理者

園田 美紀

法人・事業所の特徴

住宅地の民家をリフォームした小さな事業所であり、近所の方も訪れやすい環境である。事業所は自治会の開催するイベントに積極的に参加・協力している。事業所内の厨房で一人一人の要望や嗜む力に合わせた食事を提供している。季節の行事や昔ながらの風習を、事業所イベントとして取り組み、楽しく過ごしている

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人(後日確認)	1人(後日確認)	1人	0人	2人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所自己評価の改善計画に関し、5月、8月のミーティングで、目標達成できたか話し合う。適宜、事業所自己評価の改善計画の達成状況を運営推進会議にて報告する。	・目標達成できたかをミーティングで話し合うことはできなかったが、事業所自己評価の改善計画の達成状況を運営推進会議にて報告できたと思う。	・グループホームの目標は4項目でシンプルなので、事業所に貼り出している。 ・達成が難しかった項目の改善計画を深掘りして計画すると良いと思います。	・事業所自己評価の9つの「次回までの具体的な改善計画」及び、地域かかわりシートの「改善計画」を事業所内に掲示し、職員が意識できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域の方が通る道沿いに、季節の花や、緑を植栽し、ホーム安岡に訪れやすい工夫をする。	・熱心に水やりをしてくれる職員のおかげで、緑や花の植栽ができています。	・事業所を訪問したことが無いため、居心地のいい空間か、不快な音や臭いがないか、また日中カギがかかっていないかわからない。	・以前、定期的に開催していた認知症カフェを事業所内にて再開し、月に一回程度、認知症カフェのコーヒーの香りで癒しの空間を演出する。
C. 事業所と地域のかかわり	・小規模多機能ホーム安岡を知って頂くために、チラシ配布や、看板設置を行い、地域の方にアピールする。	・新型コロナウイルス感染拡大防止により事業所来所を控えていただいているので、チラシ配布はできませんでしたが、看板設置は行いました。	・安岡中学校からボランティアとして来てくれる方を募集するのはどうでしょうか。 ・業務日誌の記載内容充実は自分の施設でも目標です。	・地域の方との世間話しへ事業所内の業務日誌に記載して、出勤していなかった職員含めて、情報共有し、必要があれば、地域包括支援センターさんとの情報交換にも役立てる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域包括支援センターや民生委員さんと連携を行い、情報交換できるよう取り組みを行う。	・地域包括支援センター安謝の担当者様には運営推進会議に参加して頂き、定期的な情報交換ができましたが、利用者様ご自宅周辺の民生委員さんとの交流はできませんでした。	・運営推進会議に、民生委員、自治会の方、包括支援センター安謝の方が参加して、情報交換等を行っています。	・事業所周辺の民生委員・児童委員の方だけではなく、利用者様の自宅がある地域毎の民生委員さんのお名前を把握して、情報交換する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・地域包括支援センター安謝さんや、安謝新都心自治会さん、民生委員さんに継続して運営推進会議に参加して頂き、地域の取り組みについての情報交換や、地域で心配な方の事例検討を行う。	今年度、コロナ禍にも関わらず、地域包括支援センター安謝さんや、安謝新都心自治会さん、民生委員さんに継続して、運営推進会議に参加して頂いたが、事業所内の説明にだけで、地域の情報交換は十分ではなかった。	・運営推進会議で地域の心配な方の事例検討は行われていないのではないか。 ・自治会の役員会で話し合った事やイベント情報を運営推進会議でお伝えするようにします。	・地域の心配な方だけではなく、健康な方でも、あいさつできた回数や情報を地域包括支援センターに提供して、必要があれば、事例検討につなげたい。
F. 事業所の防災・災害対策	・那覇市のハザードマップを確認し、地震、津波発生時、全利用者様の具体的な避難計画を立て、訓練を実施する。	利用者様毎の避難計画は立てることができなかった。	・事業所内での防火訓練は実施されている。 ・県や市の災害訓練に積極的に参加している。ただし、災害時の備蓄品のストックについて不明である。	・事業所は浸水時水深3m地域であり、台風接近時には危険を伴う事を、利用者様にはその事を文書でお知らせし、通りサービスの中止等を判断できるようにする。